

2015年度
第100期

IR通信

2015年4月1日～2016年3月31日


中電工

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2015年度におけるわが国経済は、輸出・生産面において新興国経済の減速の影響もみられたものの、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復を続けてきました。

建設業界におきましては、公共投資は緩やかな減少傾向にあるものの、民間設備投資は緩やかな増加基調にあり、総じて好調な受注環境が続く一方、人手不足など厳しい状況も続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、太陽光発電設備工事は買取価格の低下などにより減少しましたが、営業・工事の各部門が一体となってリニューアル工事の提案営業など積極的な営業活動を展開したことや、電柱建替等の配電線工事の増加に適切に対応したことなどにより、売上高につきましては、前年度を上回ることとなりました。

営業利益につきましては、売上高の増加および原価低減の一層の徹底などにより前年度を上回ることとなりました。

経常利益につきましては、営業利益が増加したものの、営業外収益として計上した投資有価証券償還益が減少したことなどにより前年度を下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が減少したものの、投資有価証券売却益を特別利益として計上したことなどにより前年度を上回ることとなりました。

当年度の業績は、次のとおりであります。

(連結業績)

売上高	1,477億5千2百万円(前年度比 1.5%増)
営業利益	109億7千7百万円(前年度比16.4%増)
経常利益	148億4百万円(前年度比 8.2%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	108億8千9百万円(前年度比 3.8%増)

今後の経済見通しにつきましては、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあって、国内景気は緩やかな回復を続けていくことが期待されます。一方、中国を始めとす

る新興国等の景気の下振れや、金融市場の変動の影響により景気が下押しされるリスクがあります。

このような状況のもと、当社グループが、将来にわたり持続的な発展を遂げていくため、「経営基盤の強化と更なる成長」をテーマとした中期経営計画(2015～2017年度)を策定しております。

この計画では、中面頁のとおり主要施策と数値目標を掲げ、コア事業の強化と将来を見据えた成長戦略による事業の拡大を目指してまいります。

中期経営計画の初年度である当年度では、この主要施策に順次取り組み、上記業績のとおり一定の成果が上がりました。

引き続き、テーマの一つである「経営基盤の強化」については、更に確固たるものにするため、取り組みを進めてまいります。

また、もう一方のテーマである「更なる成長」については、補強・スピードアップが必要な施策について重点的に取り組み、M&A、研究開発、人材育成等への将来を見据えた投資を積極的に実施いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年6月



代表取締役会長

神出 亨

Jinde Toru

代表取締役社長

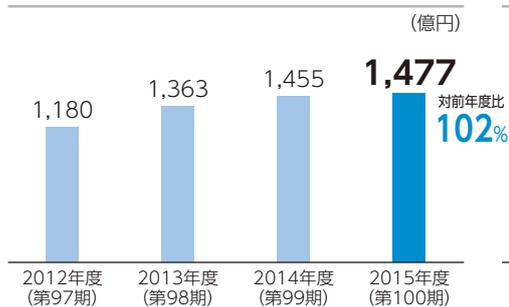
小畑 博文

Obata Hirofumi

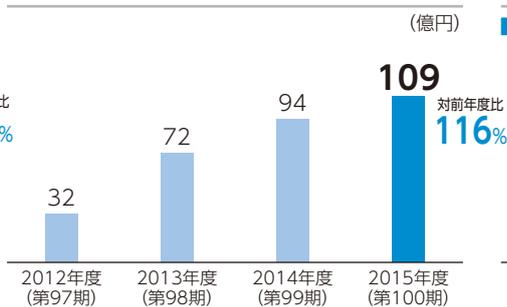
決算POINT

《増収増益》リニューアル工事や配電線工事増で増収、採算性向上・原価低減等で営業増益

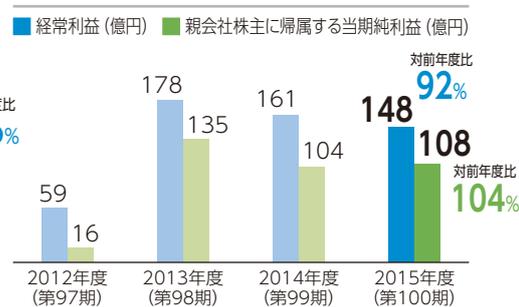
売上高



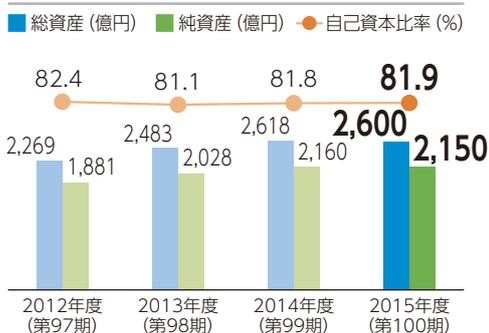
営業利益



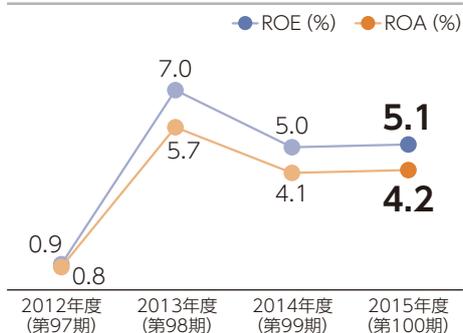
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



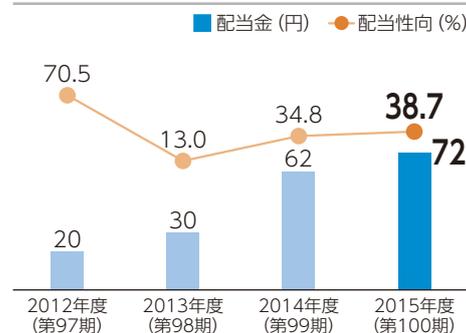
総資産／純資産／自己資本比率



自己資本利益率 (ROE)／総資産利益率 (ROA)



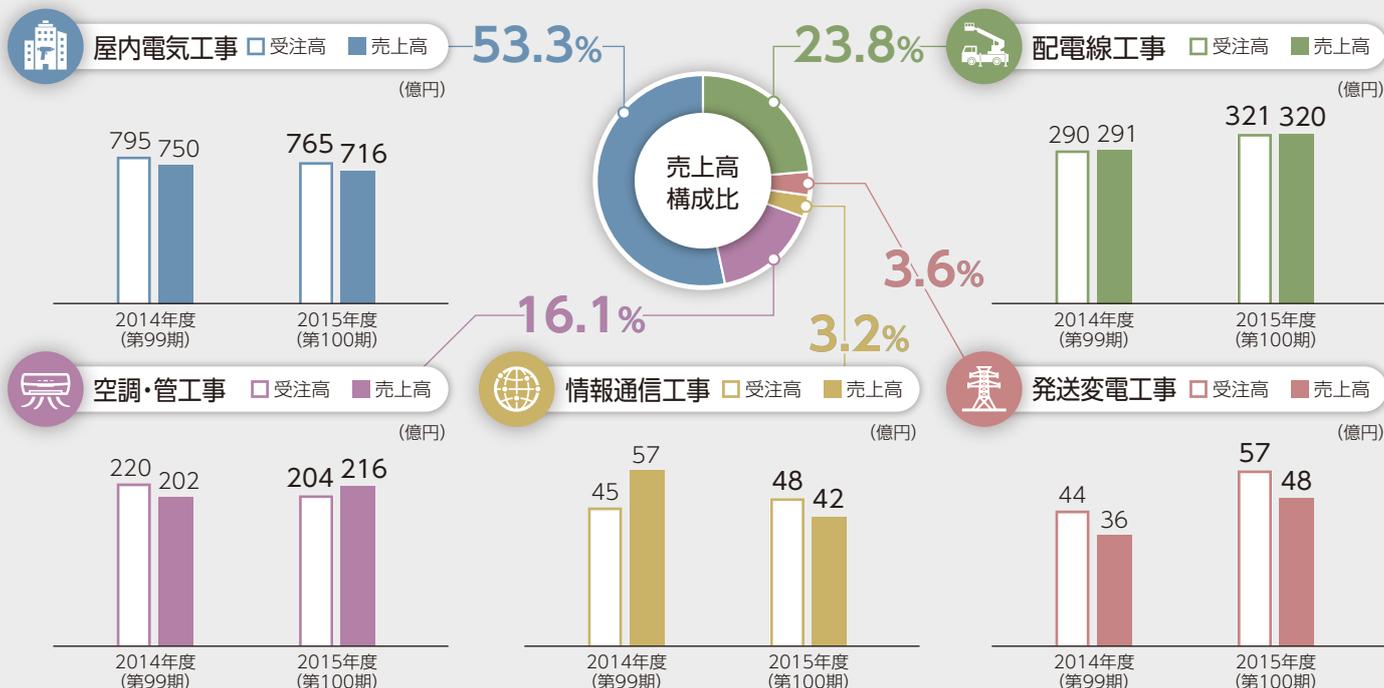
配当金／配当性向



	2012年度 (第97期)	2013年度 (第98期)	2014年度 (第99期)	2015年度 (第100期)
1株当たり当期純利益 (円)	28.35	229.81	178.29	185.97
1株当たり純資産額 (円)	3,181.27	3,426.03	3,638.40	3,654.78

工事種別受注高・売上高 (個別)

受注高 1,396億円 売上高 1,343億円



中期経営計画 (2015～2017年度) の 状況ご報告

当社は、2017年度を最終年度とする3カ年中期経営計画を推進しています。

「これまでの主要施策の継続による地域に密着したコア事業の強化」と

「将来を見据えた成長戦略による事業の拡大」を目指し、すべてのステークホルダーから高い信頼、高い評価をいただけるようグループ一丸となって取り組んでいます。

I テーマ 「 経営基盤の強化と更なる成長 」

II 主要施策



1. 受注の確保・拡大

- ・中国地域における営業基盤の強化
- ・都市圏の事業拡大
- ・成長戦略による事業拡大

2. 利益の確保・拡大

- ・適正な原価管理の徹底
- ・中電工グループ全体での生産性の向上

3. 活力を生む“人づくり”

- ・中電工グループ全体での人材の確保
- ・次世代リーダーの育成
- ・「より高度な仕事をする」環境の構築

4. 品質の向上

- ・お客様満足度の向上

III 数値目標(連結)



IV 持続的な成長のための投資

成長戦略に向けて、M&A、研究開発、従業員等への投資を推進し、投資枠として300億円を設定する。

成長に繋がる投資

- ・太陽光発電事業へ約34億円
- ・農業関連事業へ約6億円

研究開発、従業員への投資

- ・安全品質、エネルギー関連等の技術研究開発
- ・従業員のレベルアップに繋がる人材育成の強化
- ・子会社・協力会社への教育支援等による体制整備

V 株主還元

持続的・安定的なより高水準の配当を行うことを重視し、DOE (連結株主資本配当率) 2%を目処に配当を行う。また、必要に応じて自己株式取得を実施する。



施工実績

 屋内電気工事

 空調・管工事

 情報通信工事

 配電線工事

 発送変電工事

 広島がん高精度放射線
治療センター・
広島県地域医療総合
支援センター
(広島県広島市)



 浅口市学校給食センター
(岡山県浅口市)



 配電線
夜間工事

 井原連絡線新設工事・新岡山連絡線
一部ルート変更工事
(岡山県井原市)



 美郷町多機能
コミュニティセンター
(島根県邑智郡)



 笠岡放送株式会社
(ゆめネット)
(岡山県笠岡市、浅口市、里庄町)



 ゆめタウン山口
(山口県山口市)

2015年
10月

新キャッチコピー・キャラクターを発表

<新キャッチコピー>

『明日を、こうしよう。中電工』

「こうしよう」の「こう」は漠然と指すことで、「無限の可能性」「お客さまの数だけある提案」を表しています。お客さま一人ひとりの未来をより良いものにするため、確かな技術・知識・プランをもって、暮らしに関わり、寄り添い、変えていくというメッセージを発信します。

<キャラクター>

『こうじろう』

中電工に住んでいる犬のコーギー。大きな耳はみんなの「こうじろう」という思いを聞き取るため。緑色のポケットからは、みんなの暮らしを素敵にするアイデアや道具や商品がどんどん飛び出していきます。

2015年
11月

中電工ワールドファームを設立

農業の担い手育成、耕作放棄地の拡大阻止等、中山間地域の活性化に寄与することを目的に、有限会社ワールドファームと合併会社である株式会社中電工ワールドファーム(中電工子会社)を設立しました。

同社は、鳥取・岡山・広島の圃場で、キャベツ等の野菜の露地栽培事業等を展開していく予定です。



▲調印式の様子(左から)中電工:小畑社長、中電工ワールドファーム:奥本社長、ワールドファーム:上野社長

2015年
11月

田川幸二氏(配電部)が「現代の名工」に

配電部の田川幸二氏が、卓越した技術を持つ技能者を表彰する制度「現代の名工」に選出され、11月9日、厚生労働大臣表彰を受けました。

これは、田川氏が配電線工事で広く採用されている間接活線工具(ホットスティック)等の開発・導入に尽力し、作業者の負担軽減や安全性と作業効率の向上に寄与するとともに、新入社員、若年者への技術・技能の継承に高い指導能力を発揮したことが認められたものです。

当社では1997年に選出された川井一令氏以来、18年ぶり2人目となります。



▲田川幸二氏

2015年
11月

おかげさま旬間を実施

11月9日から18日までの10日間、お客さま、地域の皆さまへ日頃のご愛顧に対する「感謝」の気持ちをお伝えすることを目的に「おかげさま旬間」を実施し、地域(公園・公共施設等)の清掃活動や電気・空調設備の点検などの奉仕活動を行いました。

また、小学校への電気に関する冊子の寄贈や、工業高等学校の生徒を対象とした、当社安全実習棟の体験・見学会と高所作業車の搭乗体験会を実施しました。



▲高所作業車による清掃活動の様子

2015年
11月

「ひろしまマイスター」(当社社員)による出張授業を実施

「ひろしまマイスター」の当社社員が実技指導を交えた出張授業(屋内電気工事・配電線工事)を広島県(11月)、島根県(1月)、山口県(2月)の工業高校において、実施しました。

出張授業については2014年度から中国5県の各県で実施しており、2016年度も同様に実施する予定です。



▲出張授業の様子 (左)屋内電気工事 (右)配電線工事

会社概要 (2016年3月31日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,518名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調・管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社 東京・大阪本部、九州支社、電力建設所

株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式の総数	260,000,000株
発行済株式の総数	58,357,181株 (自己株式6,780,936株を除く)
株主数	5,389名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	24,392,259	41.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	2.87
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	1,673,400	2.87
株式会社中国銀行	1,398,619	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,361,400	2.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,295,900	2.22
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.15
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	1.94
株式会社山口銀行	1,000,279	1.71
株式会社広島銀行	936,180	1.60

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式6,780,936株を控除して算出しております。

役員 (2016年3月31日現在)

代表取締役会長	神出 亨	取締役兼執行役員	堤 孝信
代表取締役社長	小畑 博文	取締役兼執行役員	緒方 秀文
代表取締役副社長 兼執行役員	峰 賢一	取締役兼執行役員	熊崎 村夫
代表取締役専務 兼執行役員	畝 由紀男	取締役 (社外取締役)	榎田 好一
専務取締役 兼執行役員	金山 隆幸	常任監査役	赤丸 達治
常務取締役 兼執行役員	法宗 亨昭	監査役	廣田 充
常務取締役 兼執行役員	四方田 茂	監査役 (社外監査役)	信末 一之
常務取締役 兼執行役員	國木 恒久	監査役 (社外監査役)	椎木 タカ
取締役兼執行役員	伊藤 聖彦	監査役 (社外監査役)	川平 伴勅

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
自動音声応答サービス
0120-684-479 (通話料無料)

公告方法

電子公告により、当社ウェブサイト
(<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>)
に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなど制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ・ご請求先】

① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま
株主さまの口座がある証券会社

② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777 (通話料無料)

ご注意 このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
(ベジタブルインキ)を使用
しています。